



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月7日  
上場取引所 東

上場会社名 生化学工業株式会社  
コード番号 4548 URL <https://www.seikagaku.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水谷 建  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 杉山 大輔 TEL 03-5220-8950  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切り捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	30,445	11.2	3,057	31.3	3,711	21.7	3,088	14.4
2024年3月期第3四半期	27,384	4.7	2,328	△31.6	3,049	△27.7	2,701	△25.6

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 3,179百万円 (△46.2%) 2024年3月期第3四半期 5,905百万円 (△8.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	56.60	—
2024年3月期第3四半期	49.51	—

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	82,754	73,948	89.4
2024年3月期	81,795	72,282	88.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 73,948百万円 2024年3月期 72,282百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2025年3月期	—	15.00	—		
2025年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	10.5	3,950	812.1	4,550	169.0	3,450	57.8	63.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、『添付資料』P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、『添付資料』P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	56,814,093株	2024年3月期	56,814,093株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	2,236,373株	2024年3月期	2,253,745株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	54,570,999株	2024年3月期3Q	54,552,936株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、2025年2月7日より当社ウェブサイトに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
(4) 研究開発活動 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年12月31日)の売上高は、国内医薬品の減少があったものの、ロイヤリティーやLAL事業の増加により、前年同期と比べ11.2%増の30,445百万円となりました。

営業利益は、増収により31.3%増の3,057百万円、経常利益は21.7%増の3,711百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は14.4%増の3,088百万円となりました。

### セグメント別の売上概況

#### <医薬品事業>

当社は医薬品の販売部門を持たず、それぞれの製品領域で強みを持つ国内外の企業と提携し、販売を委託することで、経営資源を研究開発や製造へ集中するビジネスモデルを展開しています。

このような事業環境を踏まえ、当社から販売提携先への売上概況のほか、販売提携先から医療機関への販売状況を「医療機関納入本数」または「現地販売本数」として記載しています。

#### ・国内医薬品(8,601百万円、前年同期比4.6%減)

主に関節機能改善剤アルツ及び眼科手術補助剤オペガン類の減少により、国内医薬品は前年同期比で4.6%の減収となりました。各製品の状況については、中間期から大きな変化はありません。

アルツについては、競合品からの切り替えが進み、医療機関納入本数は前年同期比で大幅に増加しました。一方、第1四半期から当社工場の増産体制整備に向けた設備メンテナンスにより出荷量の調整を行ったため、前年同期比で当社売上高は減少しました。第4四半期には出荷量が回復し、計画通りの売上高となる見込みです。

オペガン類については、高齢化による緩やかな市場の成長等に伴い、医療機関納入本数は増加しました。しかしながら、前年同期において競合品の限定出荷により当社製品の出荷が一時的に増加した反動で、当社売上高は減少しました。

また、腰椎椎間板ヘルニア治療剤ヘルニコアの当社売上高は前年同期並み、内視鏡用粘膜下注入材ムコアップの当社売上高は減少しました。

関節機能改善剤ジョイクルは、前年同期並みの売上高となりました。本剤は2021年6月1日に安全性速報(ブルーレター)を発出しており、引き続き販売提携先である小野薬品工業株式会社と連携のうえ、副作用報告等の情報収集や安全性に関する情報提供を行っています。

#### ・海外医薬品(7,763百万円、同3.1%増)

米国向け関節機能改善剤ジェル・ワンが出荷タイミングにより減少したものの、スパルツFX等の増加により、海外医薬品は前年同期比で3.1%の増収となりました。

米国向けジェル・ワンについて、現地販売本数は減少となりました。また、当社売上高は出荷タイミングにより前年同期比で減少しました。

米国向けスパルツFXについて、現地販売本数は前年同期並みとなりましたが、販売提携先の在庫調整により、当社売上高は増加しました。

中国向けアルツについて、現地販売本数は減少となりました。一方、当社売上高は前年同期並みとなりました。

#### ・医薬品原体・医薬品受託製造(2,599百万円、同5.1%増)

医薬品原体は減少したものの、海外子会社ダルトンケミカルラボラトリーズインクの医薬品受託製造の増加により、前年同期比で5.1%の増収となりました。

これらに加え、ロイヤリティー(2,598百万円、同271.6%増)の増加により、医薬品事業の売上高は21,562百万円(同9.3%増)となりました。

#### <LAL事業>

売上高は、8,883百万円(同16.0%増)となりました。中間期に引き続き、海外子会社アソシエーツオブケープコッドインクにおける円安効果、グルカン測定体外診断用医薬品及び遺伝子組換えエンドトキシン測定用試薬パイロスマートネクストジェンの販売増に加え、国内販売も好調であったことにより、前年同期比で増収となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ959百万円増加の82,754百万円となりました。これは主に有形固定資産の増加によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ706百万円減少の8,805百万円となりました。これは主に買掛金の減少によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,666百万円増加の73,948百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益計上に伴う利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月13日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

(4) 研究開発活動

当社グループは、世界の人々の健康で心豊かな生活に貢献するために、専門分野とする糖質科学に特化して、独創的な医薬品等の創製を目指しています。

当社が保有する糖質科学に関する基盤技術を応用展開し、既存領域における新規開発テーマや新規疾患領域を含む革新的な研究テーマの創出に注力するとともに、各種アライアンスを推進することで、今後の事業成長の鍵を握る新薬の早期かつ継続的な上市の実現を図っていきます。

当第3四半期連結累計期間における研究開発費の総額は5,187百万円、対売上高比率（ロイヤリティー除く）は18.6%となりました。

研究開発活動の主な進捗状況は以下のとおりです。

・ SI-6603（腰椎椎間板ヘルニア治療剤、開発地域：米国）

2024年3月にSI-6603に関する生物製剤承認申請（BLA）を行い、同年5月にはBLAが米国食品医薬品局（FDA）によって受理されました。現在、承認取得に向けた審査対応を進めています。

本剤は、コンドリアーゼを有効成分とし、椎間板内に直接注射する治療剤です。全身麻酔の必要がなく、手術療法と比較して身体的侵襲が小さいという特徴を有しています。1回の投与で腰椎椎間板ヘルニアの症状改善効果が期待できることから、米国において新たな治療選択肢の提供を目指します。

その他の研究開発活動については、重要な変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,439	14,693
受取手形	69	84
売掛金	8,172	8,440
有価証券	5,592	3,156
商品及び製品	3,201	3,811
仕掛品	3,120	3,481
原材料及び貯蔵品	3,025	2,935
その他	2,953	3,359
貸倒引当金	△27	△44
流動資産合計	41,546	39,919
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,221	21,497
減価償却累計額	△15,476	△15,776
建物及び構築物（純額）	5,744	5,720
機械装置及び運搬具	24,624	25,243
減価償却累計額	△21,180	△21,462
機械装置及び運搬具（純額）	3,444	3,780
土地	1,106	1,100
リース資産	147	151
減価償却累計額	△64	△80
リース資産（純額）	82	70
建設仮勘定	3,728	4,850
その他	6,203	6,471
減価償却累計額	△5,091	△5,224
その他（純額）	1,111	1,246
有形固定資産合計	15,219	16,769
無形固定資産		
のれん	2,107	1,936
その他	1,093	1,053
無形固定資産合計	3,200	2,990
投資その他の資産		
投資有価証券	18,790	19,943
退職給付に係る資産	1,768	1,841
その他	1,276	1,297
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	21,828	23,074
固定資産合計	40,248	42,834
資産合計	81,795	82,754

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,652	1,117
短期借入金	300	300
リース債務	35	34
未払金	2,851	2,684
未払法人税等	113	167
賞与引当金	676	377
環境対策引当金	124	104
その他	1,443	1,635
流動負債合計	7,198	6,421
固定負債		
リース債務	61	49
繰延税金負債	2,108	2,190
資産除去債務	37	38
その他	106	106
固定負債合計	2,313	2,384
負債合計	9,512	8,805
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,840	3,840
資本剰余金	5,301	5,301
利益剰余金	54,738	56,297
自己株式	△2,259	△2,242
株主資本合計	61,620	63,196
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,526	5,672
為替換算調整勘定	4,180	4,238
退職給付に係る調整累計額	954	841
その他の包括利益累計額合計	10,661	10,751
純資産合計	72,282	73,948
負債純資産合計	81,795	82,754

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	27,384	30,445
売上原価	13,279	14,736
売上総利益	14,105	15,709
販売費及び一般管理費		
人件費	2,502	2,798
賞与引当金繰入額	92	100
退職給付費用	75	72
研究開発費	5,098	5,187
その他	4,006	4,493
販売費及び一般管理費合計	11,776	12,651
営業利益	2,328	3,057
営業外収益		
受取利息	106	136
受取配当金	374	446
為替差益	236	—
投資有価証券売却益	—	189
その他	42	40
営業外収益合計	759	813
営業外費用		
支払利息	3	3
為替差損	—	136
支払手数料	3	3
事業構造改善費用	29	—
その他	3	16
営業外費用合計	38	159
経常利益	3,049	3,711
税金等調整前四半期純利益	3,049	3,711
法人税、住民税及び事業税	387	454
法人税等調整額	△39	168
法人税等合計	348	622
四半期純利益	2,701	3,088
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,701	3,088



（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）
四半期純利益	2,701	3,088
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,254	145
繰延ヘッジ損益	14	—
為替換算調整勘定	2,005	58
退職給付に係る調整額	△70	△113
その他の包括利益合計	3,204	90
四半期包括利益	5,905	3,179
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,905	3,179
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率に係る法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含まれております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	医薬品	L A L	計		
売上高					
国内医薬品	9,020	—	9,020	—	9,020
海外医薬品	7,533	—	7,533	—	7,533
医薬品原体・医薬品受託製造	2,474	—	2,474	—	2,474
ロイヤリティ	699	—	699	—	699
L A L	—	7,657	7,657	—	7,657
顧客との契約から生じる収益	19,727	7,657	27,384	—	27,384
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	19,727	7,657	27,384	—	27,384
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	19,727	7,657	27,384	—	27,384
セグメント利益	1,543	785	2,328	—	2,328

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日至2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	医薬品	LAL	計		
売上高					
国内医薬品	8,601	—	8,601	—	8,601
海外医薬品	7,763	—	7,763	—	7,763
医薬品原体・医薬品受託製造	2,599	—	2,599	—	2,599
ロイヤリティー	2,598	—	2,598	—	2,598
LAL	—	8,883	8,883	—	8,883
顧客との契約から生じる収益	21,562	8,883	30,445	—	30,445
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	21,562	8,883	30,445	—	30,445
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	21,562	8,883	30,445	—	30,445
セグメント利益	2,204	852	3,057	—	3,057

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
減価償却費	1,060百万円	1,343百万円
のれんの償却額	134	145